

第1学年〇組 生活科学学習指導案

令和2年5月〇日 〇曜日 第〇時

指導者 〇 〇 〇 〇

1 単 元 わたしのあさがお

2 単元目標

- (1) 栽培活動を通して、植物も自分たちと同じように生命をもって成長していることや、成長や変化の特徴に気付くことができる。
- (2) 育てている植物のことをよく知り、よりよく育つための世話を工夫したり、植物の変化の様子や成長の喜びを自分なりの方法で表現したりすることができる。
- (3) きれいな花を咲かせたいと願いながら、植物に親しみをもって大切に育てようとする。

3 学習の計画 (18時間完了)

- 第1次 第1時～第4時 アサガオの種を選び、自分の植木鉢に種をまく。
 第5時 発芽の様子を観察し、観察の仕方を知る。
 第6時 (本時) 発芽の様子を詳しく観察し、発芽の様子や願いを記録カードにかく。
 第7時～第8時 これからのアサガオの世話の仕方について考え、試す。
 第9時～第10時 開花の喜びを絵や文で表現し、伝え合う。
 第2次 第11時～第18時 集めた種や枯れたつる、根の観察をし、これまでの栽培活動を振り返る。

4 本時の学習指導

- (1) 目 標
 - 詳しく観察することで、発芽の成長や変化の様子に気付くことができる。
 - 発芽の様子を観察し、見付けたことや考えたことを自分なりに表現することができる。
- (2) 準備・資料
 - 児童……記録カード
 - 教師……掲示資料 (アサガオを観察するポイントが書かれているもの)、虫眼鏡のフレーム、紙コップ、記録カード
- (3) 関 連

2年 生活 わたしたちの野さいばたけ (自分の育てたい野菜を決めて、自分たちの力で育てる)
- (4) 学習過程

段階	学 習 活 動	時間	活 動 上 の 留 意 事 項
つ か む	1 前時までの学習内容を振り返り、本時の学習課題をつかむ。 (1) 前時で発見したアサガオの芽の様子を思い出す。 ・ 4つも芽が出ていました。 ・ 緑色の芽でした。 (2) 本時のめあてをつかむ。 自分のアサガオのひみつを見付けよう。	5	<ul style="list-style-type: none"> ○ 数人の児童に芽の様子を発表させた後、アサガオにはまだまだ秘密があること、観察名人になれるような道具や魔法の言葉があることを伝える。 ○ 児童のつぶやきを拾い、もっともっとアサガオのことを知りたいという意欲を高めさせ、めあての提示につなげる。 ○ 前時で既習している諸感覚を使うことを、資料を掲示しながら確認する。
ひ た る	2 自分のアサガオのことを詳しく観察するための方法を知る。 ○ 虫眼鏡と紙コップの用途を知る。 <みるみるメガネ>…虫眼鏡 ・ アサガオの芽を比べたり、たとえたりすることを助けるための道具 <もしもしフォン>…紙コップ ・ アサガオの心の声を聴くため(想像するための)の道具	8	<ul style="list-style-type: none"> ○ アサガオの秘密を見付けるための道具として簡単に紹介し、観察への意欲を高める。 ○ 虫眼鏡のフレームは、厚紙などの丈夫な素材で作し、「～とちがって」、「～みたいな」のような、児童が比べたり、たとえたりしやすくなるようなキーワードを書いておく。 ○ 諸感覚を使うことに加え、「～とちがって」、「～みたいな」を使ったりアサガオの気持ちを想像したりすることは、アサガオのことをもっと知るための大切な方法であると伝え、観察への意欲を高めさせる。 ○ 観察中に、児童が自由に手に取って使えるような数や入れ物を用意するなど、環境を整えておく。

